

「国語」・「数学」・「理科」の力と学習の状況

～『R4 全国学力・学習状況調査*（2022.4.19中学3年生を対象に実施）』結果から～

◆ I 「国語」・「数学」・「理科」の力 ◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語の結果から

◎漢字や表現技法などの基本的な知識・技能が定着しています。

◎「読むこと」において登場人物の心情や行動に注意して内容を読み取ることができています。

▲「書くこと」の領域で、必要な情報の引用の仕方や、根拠を明確にして書くことについて課題がうかがえます。

☆対策として、授業の中ではどの教科においても、必ず根拠を添えて自分の意見をつくるよう活動していきます。

☆国語科や社会科において情報を多角的にとらえ、多面的に考えられるような活動を多く取り入れていきます。

★数学の結果から

◎「図形」の領域で、図形のもつ性質についての予想が正しいかどうかを、反例の考え方をを用いて判断することができています。

◎「関数」の領域で、身の回りの事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができています。

◎「データの活用」の領域で、図形のもつ性質についての予想が正しいかどうかを、反例の考え方をを用いて判断することができています。

▲「数と式」の領域で、数字を自然数の積で表すことに課題があります。



☆対策として、数字に関する基礎知識の定着のため、既習事項を確認する活動を取り入れます。

▲「数と式」の領域で、目的に応じて式を変更したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。



☆対策として、文字式を用いて説明する流れを再確認し、日頃から式の持つ数学的な意味を考える活動を取り入れます。

★理科の結果から

◎「電気の世界」の単元で、静電気を帯びる条件や実験の条件操作等の基本的な知識・考え方が身についています。

◎「生物のからだのつくりとはたらき」の単元で、動物のからだのつくりを観察し、そのからだのつくりの背景（生息環境等）を考える力が身についています。

▲「天気とその変化」「状態変化」の単元で、問題設定の条件を、設問から読み取って思考することに課題があります。



☆対策として、問題の正しい答えを導いたり、科学的に正確な思考をしたりするのに必要な情報が何かを考える活動を取り入れます。

▲「化学変化」の単元で、化学変化を化学反応式で表現することに課題があります。



☆ 対策として、化学反応式の書き方や、化学反応式が表している意味を再確認します。

▲「火山と地震」「地層と大地の変化」の単元では、岩石についての基本的な知識の定着に課題があります。また、化石から大地の変動を考えたり、地層の傾きを考えたりすることにも課題があります。



★ 対策として、基本的な知識の確認を行います。加えて、化石などの手がかりから、大地の変化を考える活動を行い、方角と関連付けて地層を捉える練習を行います。

◆ II 学習や生活の状況について

★ **生徒質問紙**（アンケート）の結果から * 全体的な傾向として以下のことが挙げられます。

1 肯定的な回答が多い項目（続けてほしいこと）

- ① 毎日朝食を食べていること
- ② 毎日同じくらいの時刻に寝ていること
- ③ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていること
- ④ 自分には良いところがあると思っていること
- ⑤ 将来の夢や目標を持っていること
- ⑥ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っていること
- ⑦ 友達と協力するのが楽しいと思っていること
- ⑧ 家でよく読書をする
- ⑨ 自然の中で遊ぶことや自然観察をしていること
- ⑩ 今住んでいる地域の行事に参加していること
- ⑪ 授業中に PC・タブレットなどの ICT 機器を活用していること
- ⑫ 授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を活用していること
- ⑬ 自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用していること
- ⑭ 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていること
- ⑮ 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していること
- ⑯ 全国学力調査の数学の問題では、すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力したこと

2 改善すべき項目（主な課題）

- ① 平日、休日ともに、授業時間以外での 1 日あたりの勉強時間（塾等を含む）を確保すること
- ② 放課後や週末にテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNS を利用する時間を短くすること
- ③ 家庭学習の課題に粘り強く取り組むこと
- ④ 家庭学習に計画的に取り組むこと
- ⑤ 自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組むこと
- ⑥ 自分の思いや考えをもとに作品や作文など、新しいものを創り出す活動に取り組むこと
- ⑦ 各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動に取り組むこと
- ⑧ スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を勉強のために活用すること
- ⑨ 自分の考えを発表するときに、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表すること
- ⑩ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えること

* 「個人票」（配付済み）には、各教科の結果（個人の正答数・全国の平均正答数）と各問題の全国の正答率などが記載されています。お子様が自身の課題や弱点を克服し、学力向上を目指して努力していくよう、ご支援いただくようお願いいたします。

◆Ⅲ 今後の対策について

1 学校での取組

- ICT機器（特にタブレット端末）を効果的に活用した、わかりやすい授業を行い、基礎的・基本的な知識の定着を図ります。
- 授業の最初に「学習のめあて」を板書することや、授業や単元の学習内容のひとまとまりをまとめたり振り返ったりする「振り返り」を取り入れます。
- 学んだことをもとに「考える」時間や「話し合い、伝え合う」時間を設定して、より深い学びになるような授業づくりを行います。
- 自分の考えを文章で書いたり、発表したりする機会を増やします。
- 授業や学校行事で、「楽しい」「できた」と感じることができる活動を多くつくり、自己肯定感を高めていきます。
- タブレット端末の活用をすすめると共に、インターネットや SNS 等の正しい使い方や情報モラルに関する指導をしていきます。

2 ご家庭にお願いしたいこと

- **規則正しい生活習慣の定着**
 - ・食生活に気を配るとともに、起床や睡眠時間などの生活リズムを整えられるようにしてください。
 - ・テレビやゲーム、インターネット、スマホ等の使用について、家庭でルールづくりを行ってください。
- **家庭学習の定着**
 - ・予習や復習の時間を自分で決め、家庭での学習時間を確保できるようにしてください。
 - ・新聞等のニュースにふれる機会を設けて、地域や社会の動きに関心を持たせてください。
- **家庭での体験活動への参画**
 - ・地域住民の一人として、地域の行事に積極的に参加するようにしてください。